

ヨハネ 20:19-31

20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

20:20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。

20:21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」

20:22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」

20:23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

20:24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

20:25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」

20:26 さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て

真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

20:28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。

20:29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

20:30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなしたが、それはこの書物に書かれていない。

20:31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

1. 弟子たちは喜ぶ。

もしイエスが弟子たちのところではなく、ピラトのところに現れたらピラトは恐れて腰抜かすでしょう。しかし、弟子たちは喜んだ。なぜでしょう？

赦されたからというのがふつうの答えなんですが、ある牧師は

「それをいっちゃあおしめいよ」と寅さんでおなじみの台詞をここでつかっていました。この感覚、直感は大切です。信仰に目をふさがれてしまい、この感覚を忘れてはいけません。そん

なに軽く「赦し」を考えていい訳じゃないのです。

ただ、イエスが直接ゆるしてくれたから喜んだ、うれしくなった、ということは考えられます。イエスではない誰か代理人が罪の赦しを宣言したところで意味がありません。イエスがいうからこそ意味がある。復活の意味は弟子たちも考え、聖書の書簡でいろいろな意味づけがとりあげられています。しかし、現場にいた人間にとって、いわば当事者にとって死んだイエスが再び来て、かつ赦してくれた、その衝撃だけで充分、理屈はいらないでしょう。

2. トマスの役目

トマスはほかの福音では名前だけしか出てこきませんが、ヨハネ福音では大活躍します。

a. マルタとマリアの兄弟ラザロの生き返りの時に、イエスが重い腰を上げベタニアに向かうといったとき、「いっしょに死のうではないか」といいました。

b. 最期の晩餐のとき、イエスの説教がひと段落したところで質問してイエスからさらなる奥義をひきだします。

トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるのでしょうか。」イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。14:5-6

今日の箇所でも、

20:29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

というイエスの言質をひきだしています。このことばをトマスが引き出してくれたことに、わたしたちは大いに感謝しなければなりません。なぜなら「見ないのに信じる人」これはイエスの時代以降の人間すべてをさしています。わたしたちもイエスを見ることはできません。わたしたちは使徒たちの「復活の証言」を信じて「見ないのに信じる人」になるのです。

3. まとめ

復活とはいったいどういうことでしょうか。復活のイエスとはなにを意味しているのでしょうか。

2000年も前に、それもすべての人ではなく一部の人に、また時期も40日と限ってイエスは復活の姿を現しました。

さきほど、弟子たちのよろこびについて話をしました。死んだはずのイエスが現実の姿として現れて、代理人ではなく、直接にイエスの口から「赦し」てもらった、その衝撃はやがて喜びにかわったのだらうと推理しました。

もし、いまイエスがわたしたちの前に現れ「平和の挨拶」をされたら？

わたしは最初は喜び、しばらくして、おののき畏れると思いま

す。みなさんはどうでしょうか。